

7

避難所で生活することになったら

(1) 避難所で自分ができること

大規模な災害が起こると、多くの学校が被災した人を受け入れる避難所になります。東日本大震災では、数週間から数カ月にわたって、多くの避難者が体育館などで生活し、運動場は臨時の駐車場になりました。学校が避難所になった場合、何ができるかを下の写真を参考に考えてみましょう。



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市



写真提供:東松島市

(2) あなたの学校が避難所になったら

東日本大震災では多くの高校生が避難所運営等を手伝ったように、大規模災害時には高校生の活躍が期待されています。

①学校には多くの人々が避難してくることで、学校の教室や体育館、グラウンドなどがいつもどおり使うことができなくなるかもしれません。学校での勉強や部活動は、災害前と比べて、どのように変わるか考えてみましょう。



写真提供:東松島市

②あなたの学校に避難者が来た場合、何人の方を収容することができるか考えてみましょう。人が横たわるのに必要なスペースは、約3m² (2m×1.5m)といわれています。



写真提供:東松島市

③あなたの学校には、避難所生活に役立つものとして、どんなものがあるか、いろんな季節を想定して考えてみましょう。

④高齢者や障がい者等の避難行動要支援者や女性に、どのような配慮をしたらいいか考えてみましょう。また、その他にどのようなことに配慮したらいいでしょうか。

■ 世界からの称賛

世界のメディアから東日本大震災という未曾有の災害の中、冷静に規律正しく、我慢し協力し合う日本人の姿が称賛されました。

ニューヨークタイムズ
(アメリカ) 電子版

Sympathy for Japan, and Admiration
「日本への同情、そして称賛」 ニコラス クリstoff

Our hearts are all with the Japanese today, after the terrible earthquake there-the worst ever recorded in Japan. But the Japanese people themselves were truly noble in their perseverance and stoicism and orderliness. There's a common Japanese word, "gaman," that doesn't really have an English equivalent, but is something like "toughing it out". I find something noble and courageous in Japan's resilience and perseverance, and it will be on display in the coming days. In short, our hearts go out to Japan, and we extend our deepest sympathy for the tragic quake. But also, our deepest admiration. (一部抜粋・要約)

痛ましい地震のその後、我々は日本人の人々と思いを共にしている。これは日本で記録された最悪の地震である。しかし日本人の人々自身の忍耐力、冷静さ、そして秩序は、実にみごとであった。日本でよく使われる言葉に「我慢」というものがある。英語にはぴたりと当てはまるような訳はないのだが、言うならば“toughing it out.”(耐え抜く)と同じような意味である。日本の回復力と不屈の精神に、私は気高さや勇気を見出している。そしてまもなく私たちは、それを実感するだろう。私たちは日本のことを思い、心を痛めている。痛ましいこの地震に深い同情と、そしてまた、心からの称賛を表したい。(一部抜粋・要約)

話し合ってみよう!

東日本大震災では、被災者を励ますため、高校生が合唱や演劇などを行うことがありましたが、あなたの学校では、どのようなことができるか話し合ってみましょう。